

第19回 MBI（マルチメディアを基礎にした教育）研究発表会プログラム

日 時：平成28年10月22日（土）13：00～15：45
場 所：講義棟1F 104 講義室

開会の辞

13：00～13：10 明治薬科大学 学長 石井 啓太郎

座長：池田 玲子

1. 演題1 創価大学看護学部におけるデジタル教科書の活用と可能性

13：10～14：10 創価大学 看護学部 成人看護学（慢性期） 添田 百合子

要 旨 ICT 技術が浸透している現代において、医療・看護の場でも ICT 化は急速に進んでいる。そのような時代のニーズに対応できる看護師を育成するため、創価大学看護学部では、入学時にすべての学生にノート PC を貸与し、デジタル教科書を活用した学生の能動的な学びを促す授業に取り組んでいる。本講演では、その教育実践におけるデジタル教科書活用の実際を紹介し、デジタル教科書の今後の可能性について述べたいと思う。

2. 演題2 授業支援システムを利用したCALL教室の活用例： 「CALL英語」を中心に

14：10～14：35 明治薬科大学 英語・英語学 林 弘美
英語・言語学 稲田 俊一郎

要 旨 明治薬科大学のCALL教室には、現在、授業支援システム等によりネットワークを形成した70台のパソコンがあり、主に英語の授業で活用されている。特に、学部1～3年生対象の「CALL英語」という授業では、このシステムを利用した授業を毎回行っている。今回の発表では、この授業でのCALLシステムの活用法を紹介し、他の授業・演習にも利用を拡げる可能性を探りたい。

<< 休憩 14：35～14：45 >>

座長：石橋 芳雄

3. 演題3 3年目のMY-CAST:参加型授業とゼミへの展開	
14:45~15:10	明治薬科大学 病態生理学 石橋 賢一
要旨	サイバーキャンパスがMY-CASTに変わって3年目にはいつている。講義だけでなく卒業研究や実習のサイトとしても気軽に利用できるようになってきた。今のところ教員主導でカリキュラム単位での活用に限られているが、学生主導のサークルや勉強会でも利用できるようになるとSNSに近い存在になってくる可能性もある。活用事例をいくつか紹介して、カリキュラムのSNS化を進めることによって、国家試験対策にとどまらない有用性を皆さんと一緒に考えてみたい。
4. 演題4 PBL型アクティブラーニングの実践	
15:10~15:35	明治薬科大学 数理科学部門 熊澤 美裕紀
要旨	高度多様化した医療へのニーズに対応するため、薬学教育において生涯にわたって学び続ける力が求められている。そこで、学生が主体的な学びを行うために、応用統計学においてPBL型アクティブラーニングを実践した。医療系データを扱うことで、専門的知識の活用や倫理観、チームワーク力、コミュニケーション能力を育成することができるだけでなく、ICTの活用により、より効果的な活動が実践できることを報告する。

講評	
15:35~15:45	教務委員長 池田 玲子

<< 企業展示セッション&情報交換会 16:00~18:00 >>

講義棟 2F 201 講義室